

ふれあい

No. 3

編集発行
上越市立春日小学校

校長 田邊 道行

5月18日(土)に、創立150周年記念 令和6年度体育祭が青空の下で開催されました。大勢の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。子どもたちは、練習の成果を発揮して、生き生きと、そして伸び伸びと活動していました。この日、子どもたちは、赤軍と白軍に分かれ、勝利を目指して戦いましたが、勝負にこだわるばかりでなく、子ども同士が温かくかわる場がたくさん見られました。かけはし班で下学年の子に声を掛けて励ます姿、けがをした低学年の子を抱きかかえて本部テントまで運ぶ高学年の姿、閉会式が終わった後に応援団に対してチーム全体で「がんばった～」とエールを送る姿、下校時に転んでしまった1年生に優しく対応した姿など、多くの感動的な場面から、子どもたちの心の成長を感じました。

10日後、全校集会で子どもたちに話したことを紹介します。

「今日は、一つの詩を紹介します。(右の詩を提示)

相田みつをさんの詩です。読んでみますね。

『花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根は～だなあ』

さて、最後の青い色でかくしてある『～だなあ』の部分には、どんな言葉が隠れていると思いますか。まずは、自分で考えてみましょう。次に、隣の人や近くの人と話をしてみましょう。」

子どもたちは、「根はいい子だなあ」「根は大変だなあ」「根はかわいそうだなあ」「根は力持ちだなあ」「根は強いんだなあ」「根は偉いなあ」など、いろいろ考えて発表してくれました。

それを聞いてから答えを発表しました。「相田みつをさんは『根はみえねえんだな』と表現しています。」そこで、子どもたちに聞きました。

「もしも花が皆さんだったら、皆さんを支えている枝は誰ですか」

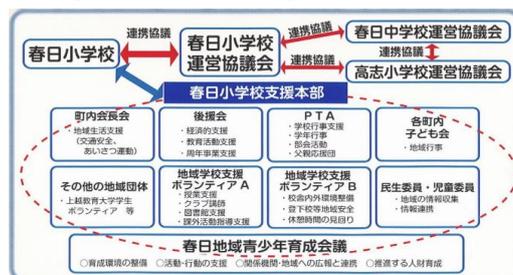
子どもたちは、「お母さん」「お父さん」「先生」…と答えます。

続けて聞きました。「では、その枝を支えている幹は誰ですか」

「おじいちゃん」「おばあちゃん」「親戚の人」…という声が出る中、

「校長先生！」という声がありましたので「ありがとう。私も皆さんや先生方を支える太い幹でありたいと思っていますよ。」と話しました。そして「幹のずっと下の方の見えにくいところで支えてくれている教育補助員さん、介護員さん、事務室の皆さん、給食室の皆さんもいますね。」と確認しました。

さて、いよいよ最後の問いです。「では、根は誰でしょうか。」子どもたちの声が少なくなりました。当たり前です。根は見えないのですから。そこで、子どもたちに右の図を紹介しました。この図は、当校のランドデザインの中央の下(根の部分)にある図です。しかし、子どもたちには分かりにくいので、今年の入学式と体育祭の来賓席の写真を見てもらいました。



写真を見ると、花である子どもたちの陰に隠れていますが、来賓の皆さんが子どもたちを見守ってくださっているのが分かります。

また、体育祭の1週間前にはPTAの環境整備作業があり、多くの皆さんからご協力をいただきました。

学校運営協議会の皆さんから助言をいただく各学年のカリキュラム検討会の様子、昨年度の卒業生の同窓会入会式の様子も下の写真で紹介しました。



続いて、民生委員・児童委員の皆さんです。児童玄関にある右の掲示物を基に紹介しました。



地域の皆さんからは、後援会を通じて財政支援をいただいています。そして、多くの皆さんが子どもたちのことを思って、各学年の活動に協力してくださっていることを伝えるため、低学年の活動を記録した下の写真を提示し、助けてくださった皆さんのことを思い出してもらいました。

最後に子どもたちに話しました。

「体育祭が大成功だったのは、皆さんがよく頑張ったからです。ただ、それを支えてくださった人がたくさんいたことを忘れてはいけません。学校を支える根の役割をしてくださっている方々は、皆さんからは見えにくいかもしれませんが、かかわっていくと見えてきます。登下校のときに交通安全のために立ってくださる方など、積極的にあいさつをして、自分からかかわるようになる、見えない根がだんだん見えるようになりますよ。学校を支えてくださる方々を見つけて、感謝しましょう。」



◇6・7月の生活目標◇ **目を見て 明るい声で あいさつをしよう**
あたたかいメッセージを 伝え合おう

① 互いに気持ちよくなかわるために 全校 SSE 「あたたかいメッセージにチャレンジ！」

学習が充実する 6 月。どの学年も次のステージに立って活動を始めています。様々な活動で、少し困難な課題にも、仲間と一緒に話し合い、分かり合い、あきらめずに乗り越えることを学んでほしいと思います。

そのため、春日小ではソーシャルスキル教育（全校 SSE）に、学習や行事と関連させて取り組んでいます。友達と気持ちよくなかわる方法を、教師の劇（モデリング）を見て気付いたことを交流したり、実際に練習したりして、互いを大切にする態度を身に付けています。

相手に目を向けよう！声をかけよう！
あたたかいメッセージは、自信をもって活動する土台

＜言葉以外のあたたかいメッセージ＞

- ① 相手に近づく
- ② 相手の目を見る。
- ③ 聞こえる声で言う
- ④ 笑顔、拍手、ハイタッチ など

あたたかいメッセージは、言葉以外からも強く相手に届くものです。失敗しても大丈夫、意見を言ったら聞いてもらえる等、自信をもって活動できる土台をしっかりと作りたいと考えます。

自然教室や修学旅行に向けた意見交流（ビーイング）



② 言葉遣いをチェック！学活「ふわふわ言葉とチクチク言葉」

6 月は、いじめ見逃しゼロ強調月間です。全学級で、「ふわふわ言葉とチクチク言葉」について話し合い、うれしくなる言葉を交流したり、人を悲しませ傷つける言葉がトラブルを招いていないか見直したりしました。



言葉遣いは人格形成や人間関係づくりに、とても大切です。チクチク言葉を習慣的に使うと、相手だけでなく自分も傷つけます。ふざけただけ、相手も言っているからと理由を付けてしまって、ひどい言葉を度々言われた人の悲しさや不快感に気付かなくなります。

学校では、教室にふわふわ言葉がいっぱいに広がる取組を進めていきたいと考えています。言葉の習慣を整えるために、大人が手本となってよりよい環境を作っていきましょう。



最近の様子から・・・見守りや指導をお願いします

- 道路を横断するときは、一旦停止して横断する。
- 自転車は左側走行。ヘルメットをかぶるのが望ましい。
- お金を持って遊びに行かない。子どもだけで買い食いをしない。
- 家庭の約束(生活リズム、時間、言葉のマナー 等)を守って生活をする。

道路では
乗らない！



にじいろ学年(1年生)

学年目標

みんな だいすき! にこにこ なかよし にじいろがくねん

4月9日に、128名の元気な1年生が入学しました。学年の愛称は「にじいろ」。「みんなが自分の色を輝かせられますように」「それぞれの色を出し、全員がお互いを認め合うことで、ひとつの虹となってまとまる集団に成長してほしい」という願いを込めた愛称です。



「1年生を迎える会」や「かすがなかよし大作戦」など、お兄さんお姉さんと仲良く活動に取り組んでいます。

初めての体育祭。練習してきたことを生かし、子どもたちは全力で競技や応援に取り組みました。



図書室の先生のお話を聞きました。初めて本も借りました。

学校の中にはいろいろな部屋があり、たくさんの先生がいました。多くの先生とかかわる機会が増えました。



先生ともあくしゅ大作戦。楽しくたくさんの先生に、自己紹介をしています。



よつば学年(6年生)

学年目標 『 **Changing Feeling Doing Let's trying** 』

最高学年になり、頼もしい姿がたくさん見られます。学びの場と遊びの場をすぐに「切り替える」。友達の思いを「感じ取る」。リーダーとして「行動する」。多くのことに「挑戦する」。最高の1年間にしていきます☆



「あいさつ運動」で全校のあいさつを盛り上げました!

「1年生を迎える会」では、校内の飾り付けや会の運営を行いました。大成功でした!!



かけはし班活動では、下学年のリーダーとして活躍しています。



金管活動にも一生懸命取り組んでいます!
音が出るようになり、自信ができました!!



体育祭に向けて、1年生へ応援の仕方を教えに行きました。頼もしい!!



上越のおすすめスポットを探しに、高田と直江津へ校外学習に行きました。